

家族って、なあに？ 瞳みのるさん (ザ・タイガースドラマ、中国文学研究者)



瞳みのる(ひとみ・みのる)さん

1946年京都生まれ。67~71年「ザ・タイガース」のメンバーとして一世を風靡(ふうび)する。グループ解散後、慶應義塾大学文学部に進学、同大大学院修士課程修了。卒業後は慶應義塾高校教師に。北京大学に2年間留学し、現在も1年の四分の一ぐらいを北京で過ごす。2011年、沢田研二ら元メンバーの熱心な呼びかけに応え、ミュージシャンとしての活動を再開。その後、全国ツアーを実施。今年7月20日に神戸朝日ホールで瞳みのる新編成バンドによる歌と演奏とトークのライブ「歌うぞ！ 叩くぞ！ 奏でるぞ！」を開催する。

問い合わせ ☎06-6312-5000 (さくら大阪)

聞いておけばよかつたと…。
「家族」というのは、同じ空間で同じ時間と共に共有する、いちばんのパートナーじゃないでしょうか。連れ合いだけじゃなく、子どもも含めてパートナーとして、ひとつの単位としてまとまっている。それがいちばんいいのでしょうか。でも、

僕が妥協しないで生きてこられたのは、家族のおかげ。本当に感謝しています。

去年、解散から42年経つて再結成できたのも、メンバーが元気でこの年まで生きてきたからなんですね。みんなまじめで、無茶な生活をしてこなかつた。沢田は多少、飲みすぎ食べすぎの傾向はありますけど(笑)。とはいって、沢田は歌を生活の中心にして生きていると思いますし、そういうところは岸部や森本、加橋

みんな元気で、
42年ぶりの再結成が実現。

にもあります。ですから、グループサウンズも数多くありましたけれど、今でも全員元気で演奏をしているのは、ヴィレッジシンガーズとわれわれぐらいでしょ

うか。

僕は運命というものを信じる人間ではないのですが、タイガースのメンバーとは不思議な”えにし“を感じるんです。

たとえば、僕と森本太郎がいた小学校に、加橋かつみの伯母さんが家庭科の先生でいらっしゃったことが、ずっとあとになつてわかつて、改めて、かつみとの浅からぬ縁を感じましたし、岸部一徳と

僕は小さいときからエネルギーにあふれた子どもだったようで、いたずらばかりやつてました(笑)。だけど、50代半ばになるまで、自分にエネルギーがあるとは思つてなかつた。結婚していたときは、連れ合いも働いていましたから、仕事が終わるとすぐに帰つて、子どもをバギーに乗せて公園に行つて遊ばせて、夕食の買い出しをして、つくつて、子どもを風呂に入れて、そのころに医師をしている連れ合いが帰つてくる。30年も前でしたから、育休というのもなく、育児のために早退すると言つたら、すぐく白い目で見られましたし、公園で子どもを遊ばせているのは主婦ばかり。その中に男がひとり

バギー押していつたりするんです(笑)。

仕事は、高校で教える以外に、1週間に1度、予備校の講師をしていましたから、今思えば3人分くらい働いていたわけです。でも、そのころは大して働いていたとは思わなかつた。ところが50代半ばになつて、改めてまわりの同世代の人たちを見たら、あまりにも元気がないの、「へえ、僕は元氣があるんだ」と、びっくりしました(笑)。

去年、タイガースのヒット曲「花の首飾り」の作詞者である女子高生を探して、その顛末を一冊の本にしました。そのときに作曲家のすぎやまこういちさんや、詩を補作されたなかにし礼さんたちいろいろな方にお話を聞いたのですが、昔の僕にとつては、みなさん、雲の上の存在になりました。これからもいろいろな方にお話を聞きたいと思っています。そして、自分の父からも、父が生きた時代のことなどもつと話を聞いておけばよかつたと、つくづく思いました。厳格で絶対権力者であつた父に、僕は反発ばかりしていましたから。だけど、自分の親に対しては聞きにくいものですね。僕の子どもたちだって、たぶん思うでしょうね、こんな親父からなんで話を聞かなきやいけないのかつて(笑)。

高校と予備校で教えながら、子どもの世話を。

中学で出会つたことや、バンド活動を始めたからの沢田との出会いとか、もし、運命の糸といつものがあるとしたら、そういう糸が存在するのかなあと思つたりします。

結婚して家庭を持ち、離婚し、子どもとも離れて暮暮らしている自分の現状を考えると、家庭というのほんとに維持するのはなかなか難しいものだと、思います。離婚の原因は、性格の不一致と一般的には言われますが、僕たちの場合はお互いに相手を美化して、買いかぶりすぎていた。僕は中国文学をしていますが、そのスタートには、漢や唐の時代の最高文化があるんです。ところが初めて中国に行くと、もちろん素晴らしい人たちもいるけれど、僕が最高と思う文化とは、どうしても合わない現実がある。優れたところも劣つていて、そこも含めて、その全部が中国なんですね。僕たちも、いいところも見て、劣つてるところも見て、照準を合わせればよかつたのに、お互いの高いところだけを見て照準を合わせてました。でも、これまで僕が妥協しないで生きてこられたのは、経済的に自立していた連れ合いや、子どもたちがいたからで、それには本当に感謝しています。

僕の父からも、父が生きた時代のことなどもつと話を聞いておけばよかつたと、つくづく思いました。厳格で絶対権力者であつた父に、僕は反発ばかりしていましたから。だけど、自分の親に対しては聞きにくいものですね。僕の子どもたちだって、たぶん思うでしょうね、こんな親父からなんで話を聞かなきやいけないのかつて(笑)。

ステーション

co·op

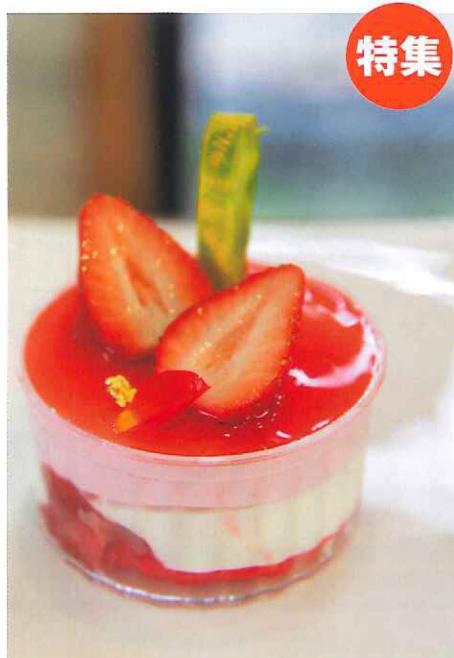
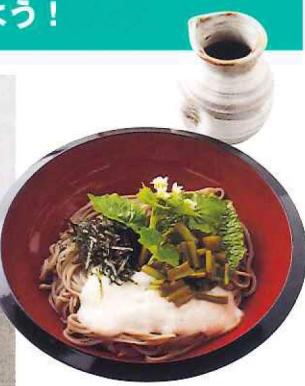
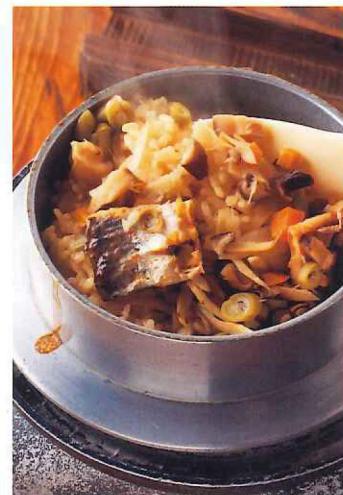
2014
MAY
本体
205円
+税

特集

食べに行きたい、買いに行きたい！

兵庫のふるさと、 「うまいもん」 大集合！

ふるさとに伝わるおかあさんの味と、地元の名物レストラン。
さあ、おいしい旅に出かけよう！



特集

麗しの、いちごスイーツ！

ショートケーキで、タルトで、
ムースで、エクレアで…。
甘いいちご、とろける生クリーム、
ふわふわスポンジ…、たっぷり味わいましょ！

神戸「アノニム」加古シェフに教わる、
南フランスの、家庭料理で、
おもてなし

枝元なほみさんの、
春巻きの皮って、楽しい！

生活スタイル別 健康・朝食レシピ

特集

13 兵庫のふるさと、 うまいもん41大集合!

- 14 但馬の、うまいもん!
- 17 但馬の、ふるさとのそば
- 18 丹波の、うまいもん!
- 21 丹波・篠山のおやつ
- 22 播磨の、うまいもん!
- 27 播磨・ふるさとの巻きずし
- 28 淡路の、うまいもん!



5 家族って、なあに?

瞳みのるさん(ザ・タイガースドラマ、中国文学研究者)

9 花咲くお寺へ

五大山 白毫寺(丹波・市島町)

11 物語のある風景

和佐父の棚田(美方郡香美町)

34 週末、一日旅へ

天橋立

36 暮らしに生きる手仕事 播州織

45 大人も楽しい! ミュージアム

但馬国府・国分寺館(豊岡市)

46 暮らしの温故知新

新茶は、お気に入りの茶筒に保存して

57 特別企画

母と娘の、アンチエイジング

62 幸せの、一杯。茶舗木蔭

63 手づくりの時間

刺しゅうで彩る、
お花のブローチ

64 ラブコープ「総選挙」が、始まります

74 特別企画

杉山文さんの
生活スタイル別、健康・朝食レシピ!

81 小さな庭仕事 ミニバラと、遊ぶ

88 40歳からの、健康学

うつ病

90 女性のための、心と体の処方箋
腎盂腎炎

92 一緒に考えましょ! 子育て、親育て
真ん中っ子の子育て

94 今月楽しみたい!
映画・美術・音楽・舞台ガイド

96 & 97 読者プレゼント

100 コープこうべのいま
コープともしひ ボランティア振興財団

37 Station Voice

38 コープインフォメーション

41 今月の星占い

42 家族への手紙

「自分が父や母に似ているなあと思ったこと」編

44 こども・こころ・からだ
あなたの体はあなたのもの

65 やさしい介護

認知症「介護」から「快護」へ

66 CS探検隊

「京都妖怪ツアー」で、
京都の町に棲む妖怪に出会った!?

68 次号予告・編集後記

プレゼント当選者発表

特集

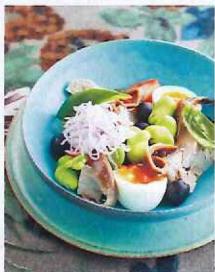
47

麗しの、 いちごスイーツ!



おいしいレシピあれこれ

- 30 家族で週末クッキング
神戸「アノニム」の、
加古シェフに教わる、
南フランスの、
家庭料理で、おもてなし



- 84 枝元なほみさんの、キッチンに、旬の香り
春巻きの皮って、楽しい!



- 98 楽樂おべんとう
山歩きの、サンドイッチのおべんとう

- 101 クッキングノート
5月のお菓子「子どもも楽しい!フライパンおやつ」

102 5月のテーマ「春野菜いっぱい!初夏の食卓」

104 コープ商品でおいしくクッキング!

- 105 今日は、家飲み気分!
缶詰で、パパッとおつまみ!

トイプードルのマロンちゃん。
小さいころから人もワンちゃんも、
女性が大好き~!男性はちょっと苦手な甘えん坊くん。
神戸市東灘区 K・Y



わが家自慢のペットの写真を編集部までお寄せください。

●本文中の価格は、原則として消費税込みの価格です。サービス料は別です。

●誌面で紹介しているお店の料理の内容は、季節などによって変わります。

●レシピ中の計量は、1カップ=200cc、大さじ1=15cc、小さじ1=5cc、1合=180ccです。1cc=1mlです。

単にしようとあるのは、濃い口しようとあります。また、「だし」とあるのは、基本的には「昆布とかつおのだし」です。

●掲載内容は2014年3月18日現在のものです。

●今月号の本文中に表示している価格は、4月1日からの消費税の変更に対応していない場合もあります。ご了承ください。